

# 私立保育所等施設整備費助成事業

こども家庭部幼児教育・保育課(電話:457-2118)

## 1 目的

浜松市子ども・若者支援プラン（平成 27 年度～平成 31 年度）に基づき、保育所等利用待機児童解消のため、私立保育所等の創設、増築及び増改築にかかる整備費に助成することにより定員増加を図る。

## 2 背景

- ・平成 29 年度末までの特例措置として、待機児童解消のため、株式会社等設置主体にとらわれず国交付金を活用できる（国平成 28 年度補正）
- ・平成 29 年 4 月 1 日現在の保育所等利用待機児童数 168 人  
（保育所等利用待機児童数の推移 H28：214 人、H27：407 人、H26：315 人、H25：269 人）

## 3 事業内容

- ・浜っ子保育園（東区松小池町）の増改築
- ・平成 30 年 4 月開設 定員 20 人増（110 人⇒130 人）
- ・負担割合 国 2/3、市 1/12、法人 1/4

## 4 補正額 160,222 千円（財源：国 142,420 千円）

- ・負担金補助及び交付金 160,222 千円（保育所等整備交付金）

# 林業成長産業化推進事業

産業部林業振興課(電話:457-2159)

## 1 目的

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

## 2 背景

- ・国は、原木の安定供給体制の確立や木材需要の拡大など、林業の成長産業化に取り組む全国の先進的な地域を重点的に支援する「林業成長産業化地域創出モデル事業」を平成 29 年度から開始
- ・本市は、当モデル事業の一つに選定され、今後 5 年間（平成 29 年度～平成 33 年度）、「浜松地域林業成長産業化地域構想」の実現に向け、国から予算投入を受けることになった

## 3 浜松地域林業成長産業化地域構想の概要

参画者：素材生産者、製材・加工事業者、木材需要者、森林育成事業者等

将来像：「多様な FSC 認証製品の流通拡大によるクリーンウッド社会の実現」

目 標：素材生産量 1.5 倍以上増加、製材品生産量 1.3 倍以上増加、製品販売量 1.5 倍以上増加、新規雇用者 70 人など（5 年間累計）

- 取 組：①品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給  
②需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産  
③「地産地消」・「地産外商」の 2 方向による天竜材の流通・販路の拡大  
④需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築  
⑤次代の林業・木材産業を担う人材の育成

## 4 事業内容

初年度である平成 29 年度は、本構想の参画事業者が行う FSC 認証製品の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通に係る経費等に対して、国費を原資に補助金を交付する。

- ・補助対象者：浜松地域林業成長産業化地域構想参画事業者
- ・補助率：事業費の 1/2 以内

## 5 補正額 7,250 千円（財源：国 7,250 千円）

- ・負担金補助及び交付金 7,250 千円（林業成長産業化推進事業費補助金）

# 風力発電ゾーニングモデル事業

産業部エネルギー政策課(電話:457-2502)

## 1 目的

環境省の「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」を活用し、市内の風力発電の適地のゾーニングを図り、民間事業者の市内風力発電施設設置を促進する。

## 2 背景

- ・平成 25 年 3 月に策定された浜松市エネルギービジョンでは、風力発電導入量を 2011 年度の 20,000kw から 2030 年度までに 40,000kw に倍増させることを目標としているが、新規の風力発電設備導入は進んでいない
- ・平成 29 年 3 月 31 日に環境省の「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」の事業採択を受けた

## 3 事業内容

環境面だけでなく経済面、社会面も統合的に評価し、風力発電の導入推進エリア、環境保全優先エリア等のゾーニングを図る。

対象地域：浜松市全域及び沖合

事業内容：ゾーニングに向けた基礎情報の収集

(風況、地形情報、送電網、環境などの法規制、希少生物の生息状況など)

風力発電の導入推進エリアの検討

導入推進エリアにおける課題の整理 など

## 4 補正額 28,400 千円(財源：国 28,400 千円)

- ・委託料 26,288 千円 (ゾーニング導入可能性調査業務委託)
- ・報償費 793 千円 (ゾーニング導入可能性検討協議会謝礼等)
- ・旅費 768 千円 (先進地視察旅費等)
- ・その他 551 千円 (協議会会場借り上げ料等)

# 直虎プロジェクト推進事業

産業部観光・シティプロモーション課(電話:457-2295)

## 1 目的

大河ドラマ館における来場者の安全確保・サービス提供などの適切な運営を確保するとともに、交通量の増加による地域住民の安全確保及び来訪者のスムーズな誘導を行うため、態勢を強化する。

## 2 背景

- ・当初、信州上田真田丸大河ドラマ館と同様の来場者数 50 万人を目標に来場者受け入れ態勢を整備してきた
- ・4月14日に来場者数 20 万人を達成し、当初目標より 2 か月早い達成となり、4 月末時点で当初想定約 1.7 倍の来場者数となっている

## 3 事業内容

### (1) 井伊谷周辺等の警備委託 2,520 千円

来訪者の増加に伴い新たに判明した混雑箇所 2 か所への警備員の配置

### (2) 交通輸送実施運營業務経費 4,652 千円

来場者の増加に伴う交通輸送に係る警備員・誘導スタッフの追加配置

### (3) 大河ドラマ館運営経費 5,870 千円

来場者の増加に伴う大河ドラマ館の安全確保のためのスタッフ配置等

#### ・大河ドラマ館運営スタッフ配置経費

平日 1 人、土日祝日 2 人のスタッフの追加配置

来場者の増加による混雑の緩和、スムーズな入場誘導を行う

#### ・来場者予測の上方修正に伴うイベント保険料等

## 4 補正額 13,042 千円

- ・委託料 7,172 千円 (交通輸送実施運営、井伊谷周辺警備委託)
- ・負担金補助及び交付金 5,870 千円 (大河ドラマ館運営負担金)

# 公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業に係る改築事業

上下水道部上下水道総務課（電話：474-7012）

## 1 目的

浜松市公共下水道西遠処理区の浄化センター及び中継ポンプ場にコンセッション方式を導入、運営権者が運営（維持管理及び改築等）を行う。

## 2 背景

- ・平成 28 年 4 月、静岡県より西遠流域下水道が事業移管
- ・コンセッション方式の導入に向け、平成 29 年 3 月、優先交渉権者の選定、基本協定締結

## 3 事業内容

- ・平成 30 年 4 月の事業開始までに、本市と優先交渉権者との間で実施契約を締結するため、運営権者が実施する改築事業に係る債務負担行為を設定
- ・改築事業については、事業者選定において優先交渉権者が提案した全体改築計画（案）に基づき、本市と運営権者との間で締結する 5 年毎の改築実施基本協定及び年度実施協定により実施

## 4 債務負担行為

- ・事 項 公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業に係る改築事業費負担金
- ・期 間 平成 29 年度から平成 50 年度まで
- ・限度額 27,553,491 千円（財源：国 15,154,419 千円、企業債 9,642,900 千円、  
損益勘定留保金 2,756,172 千円）

## 5 スケジュール

平成 29 年 10 月 運営権の設定、実施契約の締結  
平成 30 年 4 月 事業開始